

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却について
定額法により、固定資産の帳簿価額を直接減額している。
- (2) 引当金の計上基準について
退職給付引当金は、期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理について
税込方式で行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	855,185	0	0	855,185
小 計	855,185	0	0	855,185
特定資産				
退職給付引当資産	2,529,600	309,600	0	2,839,200
事業積立引当資産	4,437,690	0	0	4,437,690
小 計	6,967,290	309,600	0	7,276,890
合 計	7,822,475	309,600	0	8,132,075

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	855,185	(0)	(855,185)	(0)
小 計	855,185	(0)	(855,185)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	2,839,200	(0)	(0)	(2,839,200)
事業積立引当資産	4,437,690	(0)	(4,437,690)	(0)
小 計	7,276,890	(0)	(4,437,690)	(2,839,200)
合 計	8,132,075	(0)	(5,292,875)	(2,839,200)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
工具器具備品			
血压計	219,030	219,029	1
金庫	184,275	64,491	119,784
合 計	403,305	283,520	119,785